

# 東南アジア学会 第80回研究大会

とき：2008年11月29日（土）、11月30日（日）

会場：東京大学駒場キャンパス

（11号館、18号館、アドミニ棟）

共催：東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

一般の方（非会員）のご来聴（無料）を歓迎します。

## 11月29日（土） 13:15-18:10

### 開会の辞（11号館1106教室）

大会準備委員長 古田元夫

#### 自由研究発表（第1会場 11号館1106教室）

司会：西尾寛治

- ◇メソディスト教団のマレーシア・ミッション活動（綱島（三宅）郁子）
- ◇20世紀初頭のベナンの華人と政治参加（篠崎香織）
- ◇リナ・ジョイ係争から見る現代マレーシアとイスラーム（光成歩）

司会：河野泰之

- ◇カンボジア中央部、氾濫原の一稲作農村におけるトムノップ灌漑（小笠原梨江）
- ◇一九九四年労働法制定とベトナム労働総連合（VGCL）（藤倉哲郎）

司会：山本博之

- ◇イギリス北ボルネオ特許会社統治下における19世紀の経済開発と日本人移民（都築一子）
- ◇マニラ地域経済圏における商品流通の展開（千葉芳広）

#### 自由研究発表（第2会場 11号館1108教室）

司会：根本敬

- ◇植民地期ビルマにおける「映画とカイン」論争（池田一人）
- ◇タイコミュニティ林法を巡る迷走を読む（倉島孝行）
- ◇難民研究の視座（久保忠行）

司会：小林寧子

- ◇インドネシアの女性労働者（横本真千子）
- ◇出かせぎモノ売りにたいする地縁・血縁の役割（間瀬朋子）

司会：嶋尾稔

- ◇村の家・森の家（徳安祐子）
- ◇「文字のない少数民族」の変容（大泉さやか）

## 11月30日（日） 9:30-16:20

シンポジウム1 東南アジア現代文学の眺望 —  
作家、歴史、社会（18号館ホール）

- ◇趣旨説明（青山亨）
- ◇インドネシア — 「文学コミュニティ」から見える文学実践の多様化（澤井志保）
- ◇マレーシア — 多民族社会の中の華人文学（舛谷鏡）
- ◇ベトナム — ファム・コン・ティエンの詩学（野平宗弘）
- ◇タイ — タイ現代文学の登場と新ジャンルの挑戦（アット・ブンナーケ）
- ◇カンボジア — 内戦終結後からの再出発（岡田知子）
- ◇コメント（小野正嗣／押川典昭）

### 閉会の辞（18号館ホール）

東南アジア学会事務局 京都大学地域研究統合情報センター山本博之研究室

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 電話 075-753-9613 FAX 075-753-9602 E-mail jsseas@ml.rikkyo.ne.jp URL <http://www.jsseas.org/index.html>

シンポジウム2 世界の中の東南アジア —  
解体する？東南アジア（アドミニ棟 学術交流ホール）

- ◇趣旨説明（古田元夫）
- ◇地域主義の湧き源としての東南アジア（山影進）
- ◇国際的生産ネットワークの形成と経済統合のハブ＝スポーク・システム（木村福成）
- ◇〈東南アジア〉研究における地域と専門（白石隆）
- ◇「臨床の知」としての歴史空間（早瀬晋三）
- ◇コメント（加納啓良／玉田芳史）